

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月1日

アンケート期間:平成 31年 1月 20日~平成 31年 1月 31日

保護者等数(児童数) 32 回収数 20 割合 63 %

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	7	0	5	活動時の様子をみていない	玄関やさりを織りのスペースを確保した。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	3	0	6	活動時の様子をみていない	加配気味に配置している。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0	7		バリアフリー困難な場所は危険予知できるように指導している。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17	3	0	0		保護者のご意見を聞きながら作成している。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	4	0	0		テーマは同じでも内容を変化させている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	4	11	うちの場合は学校で普通級の子と接する機会があるので、デイに求めている	現在はその機会がないので今後の課題。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	4	0	0		契約時に丁寧に説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	3	0	0	送ってくださる際、その日の説明がよくされていると思います	連絡帳等で共通理解できるように改善している。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	7	0	2		送迎等の度に支援を呼び掛けている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	10	0	6	登山やキャンプの時くらいしか保護者の方と会う機会がないと思うのでもう少し父母の会があってもいいのかなと思います	父母の会はないが交流や祭り等で呼びかけている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3	0	10	苦情を言わなきゃいけないような事がこれまでなかったので分かりませんが、子どものことでもお願いしたことには迅速に対応していただけていると思います	小さな苦情も言いやすい雰囲気を作っている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	3	0	0		連絡帳・会報・デイだより等で情報伝達と収集をしている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	1	2		いつも最新情報を発信している。月1回の会報、デイだより、イベントチラシ配布等。
14 個人情報に十分注意しているか	15	3	0	2		個人情報資料の取り扱いには十分注意している。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	5	5	2	8	どういう風なことに注意しているのか分からないですが、職員の方の間でキッチンとやっていただけていると思うので、それが保護者にももう少し伝わるといいのかなと思います	完成めざして策定している。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	3	0	1		地震・火災・洪水に関しては訓練を月1回やっている。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	4	0	0	楽しみにしています。特にさをり織り。スタッフみんな親切でよくして下さっています。学校で嫌なことがあっても、まごころさんでの活動中で気持ちを切り替えられるくらい楽しみにしています	そうであってほしい。
	18 事業所の支援に満足しているか	19	1	0	0	アレルギーにも配慮し対応してくださっているので助かっています。何時も子の為に親身になって頂きありがとうございます。急なお迎え時間の変更のお願いにも対応していただいて感謝しています	満足いただけるように努力を続けたい。
	2019年のアンケート	62%	20%	2%	16%		「わからない」が増加しました。丁寧な説明を心がけます。
	2017年のアンケート	71%	24%	4%	1%		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成 31年 2月 21日

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 放課後デイサービスまごころレフト

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	パーティションを利用している	デッドスペースを改良している。
	2 職員の配置数は適切である	5	2	加配だと思っている	適材適所に配置しているが質の向上は常に努力している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	トイレ以外はバリアフリー	バリアフリー困難な場所は危険予知できるように指導している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	ミーティングで確認している	情報共有している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	出来るところは随時改善している	問題を見つけては、改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	1回目と比較したい	前回分と比較すると「はい」が減った。評価が厳しくなったのか、質が下がったのか検討したい。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	3	適切な評価団体を調査中	経費的に第三者による外部評価は行っていない、職員さんの誤解には説明している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	順番に研修に行っている	会議や定例会で研修報告を行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	目標項目の周知が重要	ニーズや課題を客観的に分析する時、スタッフの意見も参考にしながら計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	完全には標準化されていない	適応したかしないかはスタッフの主観に頼る場合が多い。繰り返し活動して統計的に判断できるようにする。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	その都度名案を募集している	事務局会議で行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	季節を取り入れている	テーマは同じでも内容を変化させている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	平日は短時間対応	休日はおやつやクッキングが関心事なので特に工夫をしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	子ども同士の関わりを重視している	ガイドラインに沿って自立支援を中心に創意工夫を織り交ぜた計画を目指している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	打ち合わせ内容は日誌に記録している	ミーティングを行っているが、送迎で全員はそろわない。役割分担は前もって伝えている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	ミーティング不参加もありうる	送迎終了後ミーティングを行っているので参加出来ないスタッフもいるがメモで対応している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	注目点あれば写真に記録している	記録を取っているが検証・改善に努力している。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	計画範囲が重ならないようにしている	誕生月で計画範囲を分散させながら支援計画を練っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	2	自立支援を基本としている	自立支援と創作活動、自立支援と地域支援など重複させて活動するように工夫している。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	参加している	会議出席者その他のスタッフとの情報共有が不十分であるので会議で補足説明をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2	普段は学校お迎えの件に偏っている	担当者会議で情報交換ができるので、出来るだけ出席するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7	利用がない	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、受け入れ体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4	保護者経由で情報提供されている	サポートブック等の利用をお願いしているが、現在では個別に聞き取って情報を作成している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0	同法人内のみ提供している	他の事業所の場合は要望があれば保護者の許可を得て提供していたがこれからは積極的に提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	デイ中で参加できない場合もある	連絡があれば進んで参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	交流はほとんどない	今はその機会はないが、法人としてはふれあいまつりに参加を促したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	随時連絡あり	連絡があれば進んで参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	連絡帳を活用	機会ある毎にお子さんの状況を聞くようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5	会えば声掛け	相談があれば支援を行っている。ペアトレの勉強から勉強している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	運営規定にガイドラインの内容を掲載した	契約時を始め、いつでも聞かれれば説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	悩み事相談の電話にはすぐに対応している	常に傾聴につとめている。すぐには解決できない事例が一緒に考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	例年だと参加者が少ないので対応を検討中	保護者会としては活動していないのでそれに代わる活動を今後は検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	送迎時に問いかけている	小さな苦情も言いやすい雰囲気を作っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	随時案内チラシを配布	いつも最新情報を発信している。月1回の会報、デイ日より、イベントチラシ配布等。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	スタッフの携帯にも注意をはらう	定例会や会議でも注意をよびかけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	双方向の連絡帳	送迎時が多いが機会をみては情報伝達に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	ご近所のみなさんに挨拶	プール開きや金華山登山、まつり等で参加を呼び掛けている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2	消毒、加湿、うがい、換気など注意	それぞれのマニュアルについては継続して整備している。特にインフルエンザ予防対策
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	とりあえず、事業所駐車場へ	地震・火災時を想定した避難訓練は毎月開催している。広域避難所へ検討中
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	2	児童の身体・心の変化に注視	研修の機会があれば順番に受講している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	計画には記載していない	契約時には非常時の身体拘束について説明している。主に外出時の交通事故防止のための拘束が多い。

42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	事前チェック	食物アレルギーについては、あらかじめ保護者に確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	過去の事例をチェック	毎月ひやりハットは会議で発表しており、資料は蓄積して再発防止に努めている。